

会 議 録

|               |  |
|---------------|--|
| 会 議 の 名 称     | 第 3 回 行 田 市 産 業 交 流 拠 点 整 備 基 本 計 画 検 討 委 員 会  |
| 開 催 日 時       | 平 成 28 年 8 月 17 日 (水)<br>開 会 : 18 時 00 分 閉 会 : 20 時 00 分   |
| 開 催 場 所       | 産 業 文 化 会 館 2 階 第 2 会 議 室  |
| 出 席 委 員 氏 名   | 小 林 乙 三 (行 田 市 環 境 経 済 部 長)<br>飯 嶋 隆 夫 (行 田 フ ラ イ ・ セ リ ー フ ラ イ 友 の 会)<br>小 池 利 昌 (行 田 市 商 店 会 連 合 会)<br>大 野 真 理 ((公 社) 行 田 青 年 会 議 所)<br>戸 塚 昌 利 (NPO 法 人 行 田 観 光 物 産 会)<br>町 田 光 (NPO 法 人 魅 力 創 造 倶 楽 部)<br>西 田 信 子 (行 田 軽 ト ラ 朝 市 実 行 委 員 会)<br>泉 達 也 (関 東 道 の 駅 連 絡 会)<br>大 篠 一 也 (埼 玉 県 行 田 県 土 整 備 事 務 所)<br>伊 藤 徹 哉 (立 正 大 学 地 球 環 境 科 学 部)<br>堀 口 貴 子 (星 河 地 区 自 治 会 連 合 会)<br>市 川 ひ ろ み (星 宮 小 学 校 PTA)<br>大 澤 和 美 (長 野 中 学 校 PTA)<br>長 谷 川 浩 (農 業 従 事 者)<br>太 田 彰 (公 募 市 民)<br>告 広 子 (公 募 市 民)<br>吉 田 明 夫 (環 境 経 済 部 農 政 課 長)<br>岩 田 樹 一 良 (総 合 政 策 部 企 画 政 策 課 長) |
| 欠 席 委 員 氏 名   | 大 橋 菜 央 (リ ク ル ー ト じ ゃ ら ん 統 括 編 集 部)  |
| 事 務 局         | 商 工 観 光 課 : 柿 沼 産 業 振 興 推 進 幹、赤 城 主 事、西 山 主 事<br>ラ ン ド ブ レ イ ン 株 式 会 社 : 水 嶋、石 村、福 島、野 沢<br>M & D 研 究 所 : 濱 田、杉 村  |
| 会 議 内 容       | ・ 議 事<br>1) 検 討 委 員 会 の 開 催 回 数 の 変 更 に つ い て<br>2) 第 2 回 委 員 会 の ま と め と 事 業 者 ヒ ア リ ン グ 結 果 の 報 告<br>3) コ ン セ プ ト に つ い て<br>4) 導 入 機 能 に つ い て<br>・ そ の 他   |
| 会 議 資 料       | ・ (資 料 1) 次 第<br>・ (資 料 2) 平 成 28 年 度 行 田 市 産 業 交 流 拠 点 基 本 計 画 検 討 委 員 会 の 変 更 に つ い て<br>・ (資 料 3) 第 2 回 行 田 市 産 業 交 流 拠 点 整 備 基 本 計 画 検 討 委 員 会 - 結 果 概 要<br>・ (資 料 4) ヒ ア リ ン グ 結 果 概 要<br>・ (資 料 5) 事 業 者 ヒ ア リ ン グ、第 2 回 委 員 会 を 踏 ま え た コ ン セ プ ト 及 び 機 能 の 整 理<br>・ (資 料 6) コ ン セ プ ト の 基 づ い た 機 能 の 整 理<br>・ (資 料 7) 整 備 イ メ ー ジ   |
| そ の 他 必 要 事 項 | ・ 傍 聴 者 6 名  |

| 発 言 者               | 会議の経過（議題・発言内容・結論等）   |
|---------------------|--|
| 事務局（柿沼）             | 開会<br>資料確認   |
| 小林委員長               | 議題（１）「検討委員会の開催回数の変更について」説明をお願いします。   |
| 事務局（赤城）             | 資料説明（資料２）  |
| 小林委員長               | 議題（２）「コンセプトについて」説明をお願いします。   |
| 事務局（赤城）             | 資料説明（資料５）  |
| 小林委員長               | コンセプトについて意見はあるか。   |
| 事務局（赤城）             | 以前に送った資料の中から、裏面にコンセプト案など簡単なものを書いていただけたらと。そちらを参考にしてもらうか、他社のコンセプト案を参考に出していただけたらと思う。  |
| ランドブレイン<br>株式会社（石村） | <p>資料５について、どういう意図でこのようなキーワードが出てきたか詳しく説明をしたい。和や城下町という意見があった。健康や農業というテーマもあり導入機能にもなるのではないかと。</p> <p>事業者のヒアリングの中でも、城下町や足袋といった和のイメージがあったこと。事業者たちの取組を聞いていると、農業というのが産業交流拠点としては大きなテーマになってくるのではないかと。</p> <p>歴史文化、未来の発信拠点と書かせてもらっている。これまで行田が成り立ってきた経緯も含めて産業の中では農業が中心になっていると思うが、それを融合させて新しい拠点を作っていく必要があるのではないかとというイメージでキーワードを出している。</p> <p>大きく二つ、「城下町」と「アグリ」と書いているが、これは皆さんの意見からあげさせてもらったキーワードである。</p> <p>今後の様々なキーワードや融合できるコンセプトを考えていかないといけない。特に産業交流拠点なので「アグリ」については、農業の振興だけではなく、そこで観光や体験でき、行田市の農産物を育てるだけではなく体験を通じて人材が育成でき、今後の行田市の産業の発展につながるという意味も込めて「アグリ」というキーワードをだしている。</p> <p>大きく二つのキーワードで皆さまに共有してもらえるのか、他にもキーワードがあれば出してもらいたい。</p> |
| 小林委員長               | ご意見はあるか。   |

|       |   |
|-------|---|
| 西田委員  | <p>コンセプトの中で歴史はどこから始まるのかと思うと、もう少し古いさきたまの文化や古墳などから始まってもいいのではないかな。</p>   |
| 大野委員  | <p>行田は足袋の町であり、ものづくり大学がある。</p> <p>この二つ（城下町・アグリ）の分野プラス、新たな足袋の分野やものづくりの分野を入れる。ものづくり大学の木造建築は素晴らしいのでそれをコンセプトに、新たに三つ目のサークルを作って入れて頂くのはどうか。</p>   |
| 告委員   | <p>羽生のパーキングは鬼平犯科帳のテーマであるが、上物だけで中はなにもなく期待外れだった。体験してお金を落としていかないと道の駅として役割を果たせないと思う。建物だけではなくこれに伴って付随した城下町を謳うなら、プラス体験や足袋を入れていくなど、また来たくなるような場になればと思う。</p>   |
| 長谷川委員 | <p>これからこういった機能を入れるかというときのコンセプトの考え方で、全体的には集客をするためのコンセプトを立てているところがあり、最終的にはうまく融合するのがよいが、行田にしかない歴史もたくさんあるので、コンセプトだけでワクワクするような内容があれば。それは体験なのかもしれないが、より未来に向かって楽しそうな物ができればいい。他市の道の駅のコンセプト例には行きたくなるような内容はなかった。</p>  |
| 伊藤委員  | <p>前回の話で印象に残ったのは、通過するだけの場所という話があったが、悪い意味で捉えることもできるが、いい意味で捉えられるといいかと思う。人が行きかう場所、通過するだけではなく、途中の通過点でしかないような特徴が出せればいい。場所の通過点だけではなく歴史の行きかう場所という位置づけもできるかもしれない。コンセプトは抽象的なものでもいいかもしれない。</p>  |
| 町田委員  | <p>行田市自体は、古墳や田んぼアート、ハスなどあるが、一泊するようなところではないので、昔で言うドライブインのようなイメージ。125号を通ると必ず寄りたくなる場所がいいと思う。</p> <p>行田市の入り口、玄関というイメージ。行田市全体が博物館のような感覚である。古代のハスが咲いて古代の古墳が残っていて、お城があり、足袋がある。博物館が市内に点々とある。町の歴史博物館の入り口というコンセプトはどうかと思う。</p> <p>ここに書いてあるもの全部を入れると大変なものになる。その大きな入</p> |

|       |  |
|-------|--|
|       | り口というイメージがいいのでは。   |
| 小池委員  | <p>特徴のない県であるが、行田市がさいたまの名前の発祥であることを使って、埼玉県全体を考えて、行田市に全部取り入れてしまう。物産でも埼玉県で有名なものがあればそれを取り入れてしまう。</p> <p>リピーターを作れるように、行って喜ばれる物にしないと。それが何かは分からないが、変わった物にしないと、道の駅自体がダメだというのが私には根底にある。採算度外視することは出来ないで、皆さんに何が喜ばれるのか考え採算が取れるものをコンセプトにもっていくのはどうか。</p>   |
| 戸塚委員  | <p>忍城で物産品の販売をしているが、観光客は「忍城（おしじょう）」が読めない事が多い。「忍」の字が外国人にうける。忍者の事を取り入れてほしい。観光として、外国人に向けたときに面白いと思う。</p>  |
| 西田委員  | <p>農業のほうだが、昔はもっと農業が栄えていたが、最近は野菜が少ないと感じている。農業が古いものではなく未来のビジネスとしてとらえている方がいるので、育成や方向性をだす。安定したものを作るのは大変だが、中古のコンテナで苗をつくっているのを見た。もともとはビニールハウスで作っていて、温度管理が難しく安定してなかったが、中古のコンテナは1個100万円ぐらいだが、それを導入したら安定して収穫できるのでだんだん増やしていき、今は年商30億と言っていた。苗を買おうとしたとき、地元の苗はなかなかなく、群馬の物や他所の物が多い。事業として「アグリ」と見たときに、苗から作って育成していけば、農家も増えていくのではないかと思う。</p> |
| 小林委員長 | <p>資料5でお示ししているのは、行田の歴史と未来。皆さんの意見から出て来たもの。城下町の歴史と産業では「アグリ」。</p> <p>農業と行田市の繁栄という考え方、それ以外にも意見がでていますが、今日決定をするわけではない。ある程度方向性をだしてターゲットを絞って最終的なコンセプトを出したい。</p>  |
| 伊藤委員  | <p>資料も前回の話を良くまとめられていて良いが、城下町、実際の施設の機能は問題ないが、将来を考えていくとこれをメインに、コンセプトの二本柱に押し出していくのはどうなのかと思う。</p> <p>今日の話の踏まえてもう少し工夫してもいいのではないか。</p>   |
| 告委員   | <p>北津軽市でりんごとメロンの一坪オーナーというのがあった。りんごや</p>  |

|              |  |
|--------------|--|
|              | <p>メロン、ひとつ五千円ぐらいする物が収穫したときに送られてくる。魅力的であったのは、一坪オーナーに申請すると収穫ツアーに東京から青森まで2泊3日で3万円以上かからないとなっていて、往復新幹線だけでも3万円以上かかる中、25人体験できるとなっていた。</p> <p>りんごの方で申請したら再再抽選で当たったので、参加してりんごの木を見てきた。そこでメロンを収穫し試食したら美味しかったので、8人にお中元で贈ったら、大変喜ばれた。普通に広告しても今はインターネットなどもあるので、それだけではなくプラスαになる収穫ツアーなどで人を集め、実際に食べてもらって人から人へ口コミで伝わっていく。人間がピーアールマンになることがあると思う。道の駅に来てもらうことはもちろん、プラス何か連動して行っていないといけない。東京駅から行田青大豆収穫ツアーやオーナー制度を作ってみたり、何かやり方があるのでは。</p> |
| <p>小林委員長</p> | <p>東京や全国的な活動を受け入れるという発想は面白い。都市との交わりもあり、東京の人を呼べるのが一番いい。</p>   |
| <p>長谷川委員</p> | <p>自分で収穫して食べたいという欲求は皆さん多くもっているようで、数年前に青大豆の体験ツアーを請け負った経験があるが、美味しい物の体験が併せていると人は呼べるのではないか。</p> <p>田植え体験もしているが、植えたり種を蒔いたり最初から最後までできるといいが、年間何回も足を運ぶのは難しく集客は期待できない。</p> <p>農業＝食べるもの、食べる＝健康につながる。食べて健康になって楽しくなるようなものがワンセットにできるといい。行田に来られない人でもパッケージで特別に呼べるような仕組みがあればいい。国道を走る人だけがターゲットではなく。</p> <p>農業を体験したいと考えている人は多いと感じる。子供や孫に体験させたいということもある。そうすると孫1人に対して大人が4人来てしまうこともある。子供に体験させると集客力はある。</p>                            |
| <p>堀口委員</p>  | <p>学校が荒れたことがあり、学校で青大豆の収穫を行ったことがある。植えるところから始め、様々な工程を踏んで、最後食べるまでの体験をさせるのは良い経験だったと思う。</p>   |

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| <p>飯嶋委員</p>                 | <p>自然をつくるというのはおかしいが、体験して収穫したものをコテージなどで調理して食べられる。遊びのキーワードがあったらよい。</p> <p>総合公園の周りは田んぼに囲まれていて、町に比べると3度くらい気温が違う。水があって木や森があると過ごしやすい。</p> <p>確かに行田は通過だが、目的になる遊びのような、軸になるものがあったほうがよい。</p> <p>総合公園は試合でたくさんの人があるが、小学生、中学生の試合じゃないとお金は落ちない。おじいちゃんおばあちゃんが孫の試合をみにきて、お金を使う。お父さんお母さんはお金を落とさない。子供が遊べる場所ではないとお金は落ちない。</p>   |
| <p>小林委員長</p>                | <p>まとめるわけにはいかないが、柱だては必要である。いろいろなご意見があったなかで、歴史的な部分と産業的な部分の二本の柱でコンセプト作りをしていきたい。遊びや体験ということも踏まえて、次回にはコンセプトを示せるようにはしたい。</p> <p>議題の（２）はここで終了としたい。</p> <p>議題（３）「コンセプトについて」説明をお願いする。</p>   |
| <p>事務局（赤城）</p>              | <p>今日の意見をまとめて、事務局の方である程度の案を固めてきたい。</p>   |
| <p>M&amp;D 研究所<br/>（濱田）</p> | <p>ひとつ注文をつけたい。行田市の売りがまだわからない。「歴史的な資源」と「アグリ」と「ものづくり」の基盤があってよい。取材をしていき行田市は人材が優れている。それを事業の中でどう落とし込めるのか、それを売りにつなげられるのか。全国に行田市の明確な売りをどのように作っていくのか一番悩ましいところである。施設のイメージは作れるが、根っこの売りの部分が何か未だにわからない。125号線は行田市の玄関口で、玄関として何を売りにしたらよいか。</p> <p>行田の歴史と未来への産業の育成をインキュベーターする感じでまとめればいいのかと思う。</p> <p>皆さんの話はほとんどが観光である。体験にしても集客のための観光拠点の役割を見合わないといけない。行田は観光で決めていいのか。アグリも観光の一部として位置づける方法はある。持っている資源はすべて観光である。はにわ、ハス、ものづくり、足袋、城も全て観光である。観光で行ったらよいか、それによってアグリ的位置づけが変わる。観光メニュ</p> |

|                |   |
|----------------|---|
|                | <p>一でこなすことはできる。新しい観光、売りとなるキーワードがひとつ欲しい。</p> <p>温故知新と未来をうまく結びつける道の駅と位置付ける。そして、あとで観光をやることになるのかと考える。</p>   |
| 戸塚委員           | 10年後に施設ができ、それから観光になるのか。   |
| M&D研究所<br>(濱田) | そうなる。   |
| 町田委員           | <p>行田市には売りが無い、観光地ではないので。観光などの特徴はない、それでも行田市としてどのようにしていくのか考える必要がある。コンセプトにしても曖昧なものでいいと思う。</p> <p>道の駅が何を扱うということではなく、長期に滞在してもらうのか、数時間の滞在か、購入したらすぐに帰っていいのか。125号バイパスに作るにはその特徴を選んで、無理して行田市に合わせなくてもいいのではないか。行田市に合わせようとするとう無理がある。</p> <p>利益を生むためには、行田市の特徴を探すのではない。125号バイパスに作る意味合いと、どのような道の駅にするのか。常に寄ってもらうのか、わざわざ東京から来てもらうのか。その辺のイメージをしっかりとすれば、おのずと中に入るものは何がいいのか見えてくる。例えば体験の田植えであれば、すでに田んぼはあるのだから道の駅にではなく、周辺の農家が利益が出ると思えば開放しそこで体験をすればいい。それが経済の活性化になる。道の駅だから道の駅で行うわけではなく、道の駅ができ集客できるようになり、農家も便乗していく。それが本来の活性化になる。</p> <p>道の駅ができることによって行田市がどのように変わるのか。</p> |
| M&D研究所<br>(濱田) | 集客のための、ドライブインという役割にする。  |
| 町田委員           | イメージで、必ず寄ってもらうという感覚。  |
|                | 休憩。   |
| 小林委員長          | 議題(4)「導入機能について」説明をお願いします。   |
| 事務局(赤城)        | <p>資料6、施設意見をまとめたもの。</p> <p>物販、飲食店、直売所、テイクアウト、加工場、キッチン、体験といった意見をいただいている。市の職員からも産業交流拠点の施設機能について</p>   |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
|                               | <p>て意見を概要としてまとめているので参考にさせていただきたい。</p> <p>その他、委員の皆様には埼玉県道の駅ガイドブックと農林水産省が発表している事業集の抜粋をお送りしている。これらの資料を基に事前に考えている施設機能の優先順位を委員全員ひとりずつ発表していただき、必要と思われる施設についてもご検討いただき、施設の機能が出そろったところで本日は終了と考えている。</p>   |
| <p>M &amp; D 研究所<br/>(杉村)</p> | <p>資料 6 説明</p> <p>簡単に機能と売り場と機能イメージ案を説明する。</p> <p>皆さんから伺った話とヒアリングで数件回った感覚で可能な施設。お店のイメージを浮かべながら入れたもの。中心になる行田ショップとなるものだけを入れてみた。</p> <p>行田の歴史と未来の発信拠点は皆さんの意見から考えたテーマである。このイメージは、行田の中にある歴史が財産的にあるのと、人材が優れているので、今までを大切にしつつこれからの行田を発信しようとしているのを感じたため文化と未来をテーマにした。</p> <p>道の駅をどのように発信していくかは、歴史的なものを観光に来ている方たちに行田の今を共有してもらおう。市民と歴史と今の新しい活動をもっと深めてもらいたい。期待を込めて歴史と未来の発信拠点というキーワードにした。具体的には一例なので、物産には行田の名物、漬物、お酒、洋菓子。青大豆ショップとしてお菓子、惣菜など。豆腐工房をオープンファクトリーとして見せて作ることもできる。</p> <p>産業的には足袋。足袋をキーワードに今どきの足袋ショップ。蔵や城、時代をかたどった物。イチゴや卵。この二つはコーナーとして扱いやすく売れる。</p> <p>飲食は果物系でデザートカフェのようなもの。麺やパスタ、うどんなど。古代米カレー。冷汁。ゼリーフライ定食。もともと地域にあるものを提供するお店。これを飲食店として出すのか、フードコートにするのかは今後考えていくことになる。</p> <p>直売所は、地元の生鮮品、加工品が中心になる。それ以外にも果物や花、川魚もキーワードになる。</p> <p>イベント型の軽トラ朝市。直売所と連動して定期的に動かせると面白いと思う。</p> |



|       |   |
|-------|---|
|       | <p>テイクアウトは、ドリンク、ソフト、アイス、コロッケの定番と地元の青大豆ソフトやゼリーフライを提供する。</p> <p>市内には加工場がないので、道の駅にそのような機能を持たせれば、生産者たちがその場で加工して販売することが可能になる。作り方によってはそこで体験や遊びができ、幅を広げることができる。</p> <p>建物以外に敷地内に、アグリファームやフルーツファーム、コンテナの設置によって、体験やオーナー制であれば一年かけて体験もできる。体験は長期に渡って人を呼ぶことができるので、いろいろな案を提案できればと思う。</p> <p>基本的には皆様からでてきた話を載せているだけで、足りないところもあると思うので、これに必要な機能を足して作っていかうと思っている。</p> |
| 小林委員長 | <p>説明の中にあつたが、優先する施設機能をお聞きしたい。一番欲しいものだけでも良い。</p>   |
| 長谷川委員 | <p>地元の食材を使ったものを飲食出来るレストラン。</p> <p>農産物を売る直売所も大切だが、農産物を加工したものが並んでいるところ。</p>   |
| 堀口委員  | <p>一番は体験できる場。</p> <p>次に食料品が買える場。</p>  |
| 大澤委員  | <p>一番がフードコート型の飲食店。</p> <p>二番は加工所、地元の野菜を使った料理が出来る場所。</p> <p>三番目は地元の野菜を使ったお弁当や惣菜がある直売所。</p>   |
| 伊藤委員  | <p>第一にトイレは極端にきれいにしてほしい。そうするとリピート率が高くなる。二つ目は玄関口として紹介できるような直売所で物を売るだけでなく、町の中にあるお店へ誘導するような建築や仕掛け。</p> <p>三番目は加工場、ただ作るだけでなく将来的には市立の小中学校の生徒が利用でき、職業体験ができるような人材育成と長期的につかえるような。</p>  |
| 西田委員  | <p>しいたけの刈り取りもできて、バーベキューができる場所。レストランとは別に加工して食べるような場を設置してほしい。</p> <p>加工食品や惣菜を作ってみたり、販売ができる場所。</p> <p>足袋ショップ。販売だけではなく、着物を着て体験できる場所。</p>  |

|      |   |
|------|---|
| 市川委員 | <p>一番は農産物や加工食品の販売所。</p> <p>二番はフードコート型の飲食施設。</p> <p>三番は子供が遊べる遊具施設。</p>   |
| 太田委員 | <p>一位は全国各県からのアンテナショップ。その県に行かなくても特産物が購入できるようにする。大規模の施設をつくるとなると初期投資のお金が相当かかるので、かならず集客力がある施設をつくりたい。</p> <p>二位は農産物直売所。特徴は有機栽培や無農薬栽培の商品を販売する。</p> <p>三位は体験農園。集客力の高い大手の食品企業にやってもらいたい。</p> <p>道の駅をつくるのにはお金がかかる。いかに回収できるような施設にするのか。8年後、市民も車も減少していくことを加味して施設を考えていくべきである。</p> |
| 大篠委員 | <p>一番目はテイクアウト施設、二番目は飲食施設、三番目は直売所。</p>   |
| 泉委員  | <p>物販の足袋ショップをメインに。城などを表に出して125号を通る人が気になるような、集客できるようにしたい。目立つようにしたい。</p>  |
| 吉田委員 | <p>一位は飲食施設。団体利用が可能。</p> <p>二番目は農産物を含む物販。</p> <p>三番目は屋外施設、バーベキューのできる、デイキャンプ場。</p>  |
| 岩田委員 | <p>一位は農産物の直売所、併せてレストランもできればいい。</p> <p>道の駅の産業交流を考えるうえで地域経済の活性化、雇用、定住につながり、行田のイメージアップになるようなもの。</p> <p>二位は南国フルーツ園。キウイ、パパイア、マンゴーなど高級品を育てる。直売所や加工・アイス、シャーベット、レストランなど。全国ネットによる展開。高級でデパ地下や高級ホテルでも素材にしてくれるような。9年後の行田の戦力にしてもいいのでは。</p> <p>第三位は子供、ファミリー向けのアスレチック場。</p>        |
| 告委員  | <p>一位は行田らしいフードコート。</p> <p>二位は足袋ショップ、プラス健康にもいいことを発信していく。</p> <p>三位は直売所、イベント型、軽トラ市など。店員との交流ややり取りのできるような場所。</p>  |
| 戸塚委員 | <p>野菜がメインになってくるのでは。行田の野菜が一番だと思う。</p> <p>飲食ではサラダバー、行田の野菜でできたらいいのでは。</p>  |

|         |  |
|---------|--|
|         | 後は物販全般。  |
| 小池委員    | 一番は目立つ建物を置き誰が見ても気になるような建物にすべきである。レストランは他に類をみないような、青大豆を使用した豆腐などのヘルシーなものが今の時代に合っているのではないか。豆腐料理の専門店のようなものがないのではないか。 |
| 飯嶋委員    | 一番は森の野外活動広場。コテージやポートサイド、アスレチック、釣り堀など。<br>二番は飲食コーナー。<br>三番は物産及び直売所。   |
| 大野委員    | 各交流都市と連動した直売所。交流都市が多いのでそれを含めて行う。<br>交流スペース。新設することで季節関係なく空いているときは各団体のイベントスペースとして多目的に活用できるフリースペース。                 |
| 町田委員    | コンビニと消防本部の移転を。消防本部も老朽化しているのだ。  |
| 西田委員    | 高齢者のための遊具、健康遊具。運動につながるような公園。   |
| 伊藤委員    | ふるさと納税のお返しの品を扱う部署をそこに置く。   |
| 飯嶋委員    | 24時間利用できる施設。ドライバーやライダーのための施設。  |
| 吉田委員    | 搾乳体験できる施設、加工につながりおもしろいと思う。   |
| 小林委員長   | 次回までに整理させていただき、資料としてお渡ししたい。<br>本日は意見交換までとさせていただく。  |
| 事務局（柿沼） | その他として、事務局から説明。  |
| 事務局（赤城） | 今回は来月九月の予定。改めて調整する。  |